

目次

- ISO TC220「超低温貯槽」年次会議—アメリカ・バージニア州マクレーン会議
参加報告 1
- 2023年度MGR導入時集合講習および今後のスケジュールについて 3
- 高圧ガス容器全国一斉特別回収 5
- 「高圧ガス容器配送用テールゲートリフター付車両に関する特別教育」の
ご案内 6
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2023年6月15日~2023年8月15日掲載— 7
- 新事局職員の紹介 9
- 気ままにコラム 11



ISO TC220「超低温貯槽」年次会議—アメリカ・バージニア州マクレーン会議

2023年6月20日～21日の日程で、ISO（国際標準化機構）TC（技術会議）220「超低温貯槽」の年次会議がアメリカ・バージニア州マクレーンにて対面方式で開催されました。

本会議の会場はCGA（Compressed Gas Association／米国圧縮ガス協会）が入居するオフィスの1階の会議室で、ホワイトハウスやアメリカ合衆国議会議事堂のある米国の首都ワシントンDCの中心部より約15マイルほど西に位置します。時を同じくして、インドのモディ首相が国賓待遇でアメリカを訪問しており、バイデン大統領と会談中で、ホワイトハウスの至るところにインドの国旗が掲揚されていました。

本会議への日本からの対面参加は2019年6月以来4年ぶりとなりました。参加国は対面、オンラインを合わせてアメリカ（14名）、ドイツ（3名）、フランス（4名）、中国（1名）そして日本（2名：羽坂常務執行役員、豆田）とエキスパート12か国中5か国、さらにISOとISO/TC220の各WGより6名が参加されました。



会議会場—CGAが入居するオフィスビル

WG1（設計と製作）およびWG3（製法と附属品）会議

初日のWG1（設計と製作）会議では、前回は会議議事録の採択の後、ISO/WD 21028-1「超低温における材料の靱性要件—Part 1：-80℃未満の温度」に関し2023年4～5月に行われたWG1にてドイツ、フランス、イタリアの各エキスパートから寄せられた計7件のコメントについて解決策の議論を行い、後日、改定案を各国専門家に送付されることになりました（7月11日（日本時間）に改定案を受領済み）。

午後に開催されたWG3（性能と附属品）では、ISO 24490「ポンプ」、ISO 21013-2「圧力放出附属品 Part 2：再密閉不可能な圧力放出装置」、ISO 21013-3「圧力放出附属品 Part 3：サイズと容量の決定」、ISO 21011「バルブ」について協議が行われました。



ISO TC220会議の参加メンバー

全体会議

2日目は全体会議が行われました。2022年6月にZOOMにて行われた前回会議の議事録は全会一致で採択され、その後、作業中・検討中のISO文書(8件)について報告がありました。

続いて、各WGより進捗報告があり、WG1からはISO/WD21028-1「超低温における材料の靱性要件-Part1：-80℃未満の温度」の協議事項の報告があり、また、ドイツよりISO 21009-1「定置式真空断熱容器-Part1：設計、製造、検査および試験」およびISO 20421-1「大型可搬式真空断熱容器-Part1：設計、製造、検査および試験」の改訂の提案があったことが報告されました。

WG2からは、ISO/DIS21009-2「定置式真空断熱容器-Part2：運用要件」の調査が9月2日に終了する予定であること、並びにISO 20421-2とISO 21029-2を改訂する必要性が報告されました。

WG3からは、前回会議以降実施した超低温容器の附属品基準（超低温で使用されるポンプ、圧力放出装置、バルブ、ホースなど）の作業状況について報告されました。

来年の年次会議は、2021年6月11日～12日にドイツのベルリンでDIN（Deutsches Institut für Normung／ドイツ規格協会）の主催で開催されることになりました。

技術・保安部会 超低温貯槽WG長（岩谷産業株式会社） 豆田 武士



ホワイトハウス正面

2023年度MGR導入時集合講習および今後のスケジュールについて

2023年度MGR導入時集合講習を開催

「MGR導入時集合講習」は、MGR認定試験の受験要件の一つです。受験する年度を含めた4年以内に導入時集合講習を修了し、かつ企業内導入教育を修了すると受験資格を得ることができます。今年度は4年ぶりに会場開催となりました。概要は次のとおりです。

- ◆ 開 講 日 8月8日(火)・8月9日(水) 2日間（2日間受講して修了となります）
- ◆ 会 場 大田区産業プラザPiO 4階コンベンションホール（東京）
- ◆ 講義内容 13講義（約13時間）
 - <制度・法令> MGRの倫理、法規・医薬品概論、医療関連制度、PMS、添付文書
 - <医療ガス> 医療ガス(1)、医療ガス(2)
 - <疾病と治療> 呼吸器系・感染症、脳神経系・循環器系、在宅酸素療法、麻酔、高気圧酸素治療・酸素中毒、薬理学・薬剤学
- ◆ 受講申込数 55社、126名



2023年度MGR導入時集合講習 会場の様子

■ MGR認定試験・講習スケジュール

第17回2023年度MGR認定試験

- ◆ 試験日 2023年12月3日(日)
- ◆ 受験申込期間 2023年10月2日～10月31日
(MGR管理者様がMGR管理システムからお申し込みください)
- ◆ スケジュール
 - 10時40分～11時00分 オリエンテーション
 - <試験時間>
 - 11時00分～12時00分 ① 医療ガス
 - 13時00分～14時00分 ② 制度・法令
 - 14時20分～15時20分 ③ 疾病と治療
- ◆ 会場 全国5会場（札幌・仙台・東京・大阪・福岡）で同時開催
※詳細案内はJIMGAウェブサイトMGRのページにも掲載いたします。

第14回2023年度MGR更新時集合講習

- ◆ 開催日 2024年1月下旬～2月下旬予定
- ◆ 会場
【全国9会場】
札幌・仙台・東京（2回）・名古屋・金沢・大阪・広島・高松・福岡
詳細案内は会報「医療」およびJIMGAウェブサイトMGRのページに掲載いたします。
(企画・事業グループ 山本 卓也)

- 会報「医療」バックナンバーはこちら↓
<https://www.jimga.or.jp/report/kaihou2023/>
(会員ログインのうえでご覧ください)
- MGRのページはこちら↓
<https://www.jimga.or.jp/mgr/>



高圧ガス容器全国一斉特別回収

高圧ガス容器の全国一斉特別回収を今年も実施します

高圧ガス容器全国一斉特別回収は、1987年の開始以来37回目となります。回収の対象となるのは、「放置容器」（路上、河川等公共用地、容器置場に放置され、管理されていない容器）、「停滞容器」（各都道府県における「高圧ガス容器適正管理指針」の返却期限を経過した使用済みの貸借容器）、「不明容器」（所有者、または内容物が不明で処分を依頼された容器）です。

特別回収期間は、2023年10月1日から10月31日までとなっており、間もなく、お願い文書や実施要領、キャンペーンポスターなどの配布が始まります。

長期間放置され容器再検査が行われない容器は、いずれ腐食などの劣化で破裂する可能性がある等、保安上の問題があります。また、資源の効率的運用を図る観点からも、容器の早期回収は継続して働きかけていかなければなりません。実施する目的を何卒ご理解いただきまして、ご協力の程、お願い申し上げます。

アスベストを含有する溶解アセチレン容器について

以前より「溶解アセチレン容器をお取り扱いの皆様へ」と題し、製造から38年を経過したアセチレン容器は「充填しない、販売しない、廃棄する」お願いをしてきました。

2006年3月までに製造された容器にアスベストが使用されており、それを長い年月をかけて徐々に廃棄しようという計画でしたが、それから17年経過した現在も廃棄は進んでいない状況です。消費事業者へ出荷された容器が販売並びに製造業者へ返却されていないことが要因でもありますので、この特別回収月間に少しでも多くの対象容器が回収できますようご協力をお願い申し上げます。

(企画・事業グループ 山本 卓也)



2023年ポスター

「高圧ガス容器配送用テールゲートリフター付車両に関する特別教育」のご案内

貨物自動車に設置されているテールゲートリフターを使用した荷役作業は特別教育の対象となります

労働安全衛生規則の一部を改正する省令（令和5年厚生労働省令第33号）および安全衛生特別教育規程の一部を改正する件（令和5年厚生労働省告示 第104号）が2023年（令和5年）3月28日に公布され、貨物自動車に設置されているテールゲートリフターを使用して荷を積みおろす作業におけるテールゲートリフターの操作業務が、労働安全衛生法第59条第3項に基づく特別教育の対象となりました。そのため、2024年（令和6）年2月1日施行日以降は、特別教育（義務化）を受けた者でなければ、テールゲートリフターを使用した荷役作業を行うことができなくなります。

本講習については、陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）での開催が予定されていますが、すでに定員に達している講習も多く、JIMGA会員各位からの本特別教育講習の開催要望が高いことから、JIMGAにて各地域での開催を検討しております。検討中の本特別教育講習の概要は以下のとおりです。

講習概要（予定）

対 象：高圧ガス容器を配送するためのテールゲートリフター付車両を有する事業者／従事者

実施期間：2023年10月1日～12月28日（検討中）

開催場所：各地域（検討中）

教育内容：学科教育（4時間）・実技教育（2時間）

募集開始：2023年9月～

費 用：10,000円（税別・テキスト代込み）を予定

なお、特別教育の開催日時、開催場所、募集方法等の詳細については、9月初旬に「JIMGAウェブサイトのお知らせ」（<https://www.jimga.or.jp/news/>）にてご案内予定です。

（企画・事業グループ 事務局）

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2023年6月15日~2023年8月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2023年6月15日~8月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→<https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2023.08.10 厚生労働省通知「台風7号に対する警戒と安全確認の対応について」
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1360>
- 2023.08.04 本ウェブサイトにおけるインボイス制度への対応を実施しました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1359>
- 2023.08.03 「在宅講習会」第29回受託責任者更新時講習会、令和5(2023)年保守点検従事者研修講習会開催のご案内 【再掲】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1356>
- 2023.08.01 厚生労働省通知「台風6号に対する警戒と安全確認の対応について」
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1358>
- 2023.08.01 JIMGA『テールゲートリフター特別教育講習』(予定)の開催概要についてのご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1357>
- 2023.07.20 「シリンダー及びチューブの内部腐食の防止と検出方法」(改訂1版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1355>
- 2023.07.20 「可搬式超低温容器取扱い基準」(改訂3版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1354>
- 2023.07.18 【気象庁連絡事項】梅雨前線による大雨について(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒)第18報 7/18
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1353>
- 2023.07.14 【厚労省通知】7月15日からの大雨に対する警戒と安全確認の対応について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1352>
- 2023.07.11 令和5年度医療ガス安全管理者講習会eラーニング受付開始のお知らせ(公益財団法人医療機器センター)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1351>
- 2023.07.10 災害時緊急掲示板「大雨による被害情報」を開設しました→7/18閉鎖
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1350>
- 2023.07.10 【水管理・国土保全局、気象庁連絡事項】福岡県及び大分県に大雨特別警報発表(7/10)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1349>
- 2023.07.05 【気象庁連絡事項】梅雨前線による大雨について(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重警戒)第6報(7/5)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1348>
- 2023.07.04 【気象庁連絡事項】梅雨前線による大雨について(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重警戒)第5報(7/4)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1347>

- 2023.07.03 【気象庁連絡事項】梅雨前線による大雨について（土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重警戒）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1346>
- 2023.07.03 医療用酸素に関するアンケート調査のお願い（2023年度調査）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1342>
- 2023.06.30 JIMGAnews 第75号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1345>
- 2023.06.30 梅雨前線による大雨に対する警戒と安全確認の対応について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1344>
- 2023.06.28 「無人空気分離プラントの設計・運転指針」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1343>



新事務局員の紹介



名 前：田中 克幸（たなか かつゆき）

現住所：東京都品川区

出身地：大阪府

略 歴：1990年4月 大阪酸素工業(株) (現 日本エア・リキード) 入社
2003年4月 工業ガス充填ロジスティクス部 グループ長
2008年4月 エレクトロニクス事業本部 物流部長
2014年7月 エア・リキード工業ガス(株) オペレーションセンター長
2015年1月 (株)関西ガスファースト、ティーティーテック(株) 代表取締役社長
2019年4月 日本エア・リキード(株) 安全信頼性推進部 マネージャー
2023年7月 JIMGA常務執行役員

趣 味：コロナ禍のStay Home中、自宅リビングの壁に漆喰を塗ったり、家具やウッドデッキを自作したりなど、DIYが趣味になりました。また、家族キャンプも再開して楽しんでいます。
今般、初めての単身赴任生活をするので、週末、一人でも楽しめる趣味を新たに見つけたいと思っています。

抱 負：一日も早く、JIMGAの一員として会員の皆様に貢献し業界の発展に寄与できるよう、早く仕事を覚えたいと思っています。ご指導よろしくお願いいたします。
コロナ禍での行動制限もなくなり、現地にもどんどん赴き勉強させていただきたいと考えています。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。





名 前：村上 良二（むらかみ りょうじ）

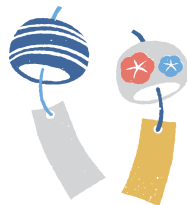
現住所：千葉県習志野市

出身地：愛媛県

略 歴： 1990年4月 テイサン(株) 四国事業所（営業担当）入社
1998年4月 日本エア・リキード(株) 九州リージョンにてメディカルガス担当
2001年7月 同 中部リージョンにてヘルスケア事業推進担当
2003年1月 バイタルエア・京都(株)にて在宅酸素事業管理全般
2004年4月 バイタルエア・ジャパン(株)にて在宅医療事業管理および営業推進

趣 味：小学生から始めたサッカーを社会人でも選手として継続していましたが、転勤先での出会いに導かれサッカー審判へと道を変え、さらにはフットサル審判へと変遷し現在に至るまで続けています。年齢と共に携われる競技会が限定的になってきたこともあり、審判員育成強化へと軸足を移し、関わった審判員たちの活躍を見守ると共に、より高みの審判員育成に携われる様に研鑽を積んでいます。

抱 負：入社からガス業界に携わる様になり33年となりましたが、内20年を在宅医療現場で過ごし、ご利用者様のQOL向上を願う福祉精神も培ってきました。この度ご縁がありJIMGA関東地域本部の事務局に籍を置くこととなりましたので、地域会員各社様のご協力を得ながら、JIMGA各事業を円滑に推進するため、事務局として努めてまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



気ままに コラム

<私の本拠地 山梨県のトピックス>

山梨といえば…武田信玄！

今年は10月27日～29日に甲府で「信玄公祭り」（昨年の岐阜でキムタク騒動になった「信長まつり」の信玄版）が開催されます。

今年は50回記念。NHK今年の大河から信玄公役は阿部寛さんか…と期待したら、なんと富永愛さん。女性初の信玄公役。さらにあの美しい体形での信玄公…楽しみです。

信玄公祭り～世界最大の武者行列～

<https://www.yamanashi-kankou.jp/shingen/index.html>



そして、富士山。南アルプス、八ヶ岳の山々。

きれいな富士山はどっちだについて静岡県との論争がありますが、山梨から見た富士山が一番きれいだと自負しています。特にお気に入りのゴルフ場から見える富士山が最高です。



富士山だけでなく、山梨は3000m級の山々に360度囲まれています。菩薩峠、甲斐駒、八ヶ岳…「山梨100名山」があります。体力がなく登りませんが、下から見る季節や時間によって変わる山の色がとてもきれいです。

最後にフルーツ。

さくらんぼ、桃、ぶどう…。JAの直販所で、新種や規格外のフルーツが販売されるのですが、穴場とっていたところも、いつの間にか朝1番から他県ナンバーの車で長蛇の列。皆さまの情報網、さすがです。

地元では、フルーツは買うものでなくいただくもの。聞いたこともない名前のぶどうやシャキシャキの桃…。農家のお友達に感謝です。

全国的にマイナーな山梨県ですが機会があれば是非立ち寄ってください。

(企画・事業グループ 能瀬 憲宏)